CYREX® Laboratories

EMPOWER YOUR BRAIN™

認知症　ブレインヘルス

ALZHEIMER'S LINX™

ALZHEIMER'S-ASSOCIATED IMMUNE REACTIVITY

未来を予測することが出来る画期的な検査です

Alzheimer's LINX™検査：最新の医学研究がアルツハイマー病を含む認知症の発症に結びつく、鍵となるリスク因子を検査するものです。

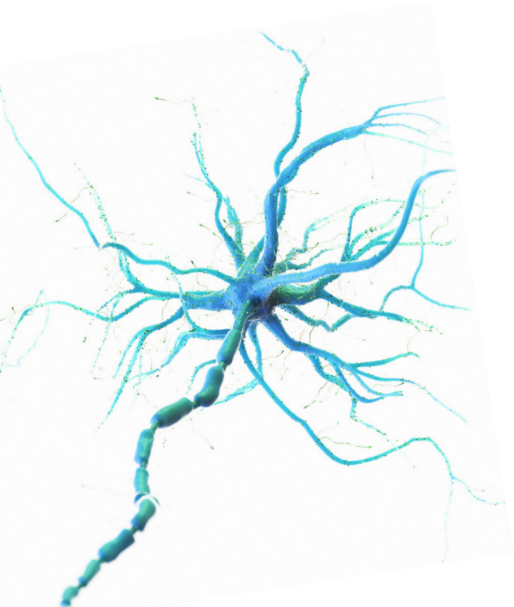
免疫反応は関連する病態が形成される数年前に起きています。これらの抗体は体内の様々な組織や環境要因に対して産生されています。病原体や有毒化学物質や食品抗原などの環境要因に対する抗体も、ヒト組織と交差反応を引き起こし自己免疫反応を引き起こすことがあります。
Alzheimer's LINX™の検査項目に含まれるバイオマーカーにより、アルツハイマー病を含む認知症のリスク予備軍に臨床的な処置を行う機会が与えられます。

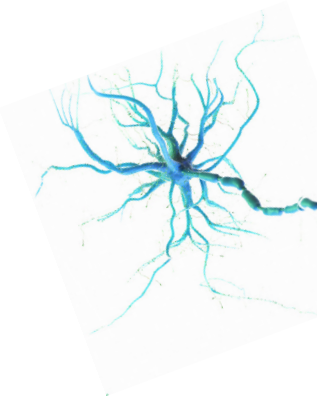
米国の認知症関連データ

Alzheimer's LINX™検査は、機能性免疫学の父として知られる、アリスト･ボジャーニ博士が、長年精力的に調査と研究を重ねることによって生み出されました。
脳と関連した免疫反応のバイオマーカーから、戦略的にこれまでにない臨床上の重要な指針が得られます。

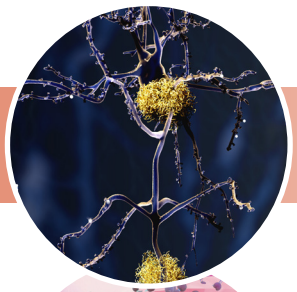
この検査の特徴：
次のバイオマーカーを検証します

- 認知機能の低下やその他の神経変性症状への鍵となる寄与因子を7つのカテゴリーに分類
- 多くはこの検査で初めて取り上げられる40種近くのバイオマーカー
- 全く新しい血液脳関門に対する抗体のバイオマーカー
- アミロイドーベータに対する免疫反応をみる新しいバイオマーカー
- アルツハイマー病、認知症と強い関連があることが新たに発見された、最も相関反応を引き起こしやすい8つの食品
- アルツハイマー病、認知症のキモとなる主要な脳細胞と神経細胞に対する、免疫反応と相関性を明らかにする新しいたんぱく質バイオマーカー
- アルツハイマー病、認知症との関連が明白化された新しい口腔内細菌バイオマーカー
- アルツハイマー病、認知症との関連性が発見された、化学物質と金属に対するバイオマーカー
- 市場で最も信頼性の高いゴールドスタンダードのELISAプラットホームで検査





7つの鍵となる寄与因子の評価内容



脳蛋白質

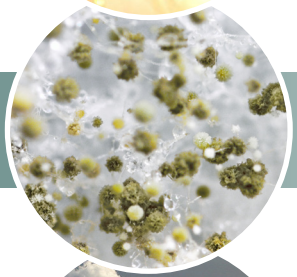
- アミロイドーベータとタウ蛋白質など脳蛋白質への反応を評価

成長因子

- 神経再生に関与する因子への免疫反応を測定

腸管神経、消化管酵素、そして神経学的ペプチド

- 胃腸と脳との間の連絡経路への免疫反応を評価



病原体

- アミロイドーベータと相関する事が既知の病原体への免疫反応を評価

化学物質

- アルツハイマー病を含む認知症との関連が発見された化学物質や重金属に対するバイオマーカー

アミロイドーベータに相関する食品

- 208種類の一般的な食品からアルツハイマー病を含む認知症と関連している可能性がある8種類

血液脳関門と神経フィラメント

- 血液脳関門に対する抗体へのバイオマーカー
- 血液脳関門の完全度の評価

Alzheimer's LINX™で扱われるバイオマーカー:

アリスト・ボジダーニ、PhD、MSc、CLS

サイレックス社の主席科学アドバイザー。
サイレックス社のユニークで革新的な検査の開発者。

博士の現在進行中の研究は、自己免疫の重篤な疾患における環境要因としての役割に焦点を当てている。博士の革新的な研究により、多くの自己免疫性疾患や、その他の疾患の根本原因を検出する為の300種類以上の抗体検査が開発されている。

臨床検査に関して16の米国特許を持つ。査読雑誌に175本以上もの論文を発表。
著書「Neuroimmunity and the Brain–Gut Connection(神経免疫と脳–腸の結びつき)」ノバ・サイエンス出版。

ヘルベルト・J・リンケル賞、ライナス・ポーリング、PhD賞、F. R.キャリック研究所生涯業績賞、個別的生活習慣医学協会2018年度生涯業績賞を獲得。

現在、米国のカリフォルニア州のロマリンダ大学予防医学部准教授、米国立健康科学大学の卒後専門継続教育を担うリンカーンカレッジ准教授。

世界中の科学会議や医学会議で講義、知識を広め、それによりかつて失われたと思われた患者の生活を改善している。

サイレックス社は、様々な検査を提供しています

サイレックス社は8年以上に渡り、自己免疫反応と結びつく隠れた要因を見つけ出すのに役立つ、革新的な検査をいくつも紹介してきました。以下にその一部を紹介させていただきます。

- **アレー20 ― 血液脳関門の透過性検査 (BBBの破綻)**
  多発性硬化症、ルーゲーリッグ病、老人性認知症、アルツハイマー病を含む認知症、パーキンソン病、てんかんおよび脳卒中を含むがこれらに限定されない神経変性障害のリスクの評価をサポートします。接触の激しいスポーツに関連した外傷性脳損傷の早期調査を支援し、明らかな脳しんとうや脳損傷が無い場合でも、ストレス、外傷、または環境トリガーによって引き起こされる血液脳関門の破綻を評価します。

- **アレー2 ― 消化管の抗原透過性スクリーニング検査**
  2011年に発売。単なる腸管の透過性の亢進のみならず腸管バリアーの粘膜上皮細胞の傷害、タイトジャンクションの破綻そして抗LPS抗体の存在も評価。

- **アレー3X ― 小麦とグルテンのプロテオームの反応性と自己免疫の検査**
  2011年に発売。その種の初の検査。グリアジンとトラスグルタミナーゼとの反応を超えて検証する、グルテンの反応を調べるには絶対的に必要。
  アレー3は12の抗原と24のマーカーから成る小麦、グルテン、オピオイド、新生複合体、そして自己免疫反応物を評価する検査。2018年に、アレー3はアレー３Xに刷新され、グリアジン毒性ペプチドと微生物源性トランスグルタミナーゼなどの追加の抗原が検査に加えられ、最新の研究成果を伝えている。

- **アレー4 ― グルテンに関連した交差反応食品と食品の感受性検査**
  50%近くのセリアック病患者がグルテン除去食では回復しません。アレー4は、この集団を対象に開発。この画期的な食品反応性検査ではグルテンへの暴露をはるかに超えグリアジンと相関反応する事が知られている食品や、グルテン除去食に使用されている一般的な食品を評価。

- **アレー10― 複数の食品の免疫反応性スクリーニング検査 180 品目**
  180種の食品を検査。縮小版では一般的な90種類の食品を検査。生だけでなく、加熱調理によってたんぱく質が変性した食品、加工された食品や、混合された食品など、自己免疫の引き金になる事が知られている複数の形態の食品が検査対象に含まれる。

- **アレー11 ― 生活環境化学物質、有害金属検査**
  自己免疫の引き金となり得る環境要因で、鍵となる化学物質への免役反応を測定。同様の他社の検査では暴露の状況が示されるが、アレー11では暴露のみでなく、ヒト組織に結合した化学物質への抗体量を測定することによって身体への負荷が明らかにされる。

2011年の開設以来、サイレックス社は医療従事者に向けた、環境に起因する自己免疫を評価するための最先端ラボでした。

ゴールドスタンダードのELISAテクノロジーを使用した最先端のテストにより、医療従事者が患者の生活の質を回復し、維持するのを手助けしてきました。

サイレックス社の卓越した品質管理基準や、その他の検査についての更なる情報はサイレックス社のウェブサイトをご覧ください。

ALZHEIMER'S LINX™

ALZHEIMER'S-ASSOCIATED IMMUNE REACTIVITY

LIFE STYLE MEDICINE

CISCO BAY

本資料に関するお問い合わせは：シスコベイ Inc,まで
国内代行店（株）デトックス
info@sfciscobay.com

©2019 Cyrex Laboratories, LLC. Cyrex is a registered trademark. All Rights Reserved. Cyrex is a CLIA-licensed laboratory.

2020.2

EMPOWER_08052019